

製作／クリエイティブ21

語り／川平朝清

台中生まれ・元琉球放送アナウンサー

イラスト／森田拳次

漫画家・中国からの引揚者

長編ドキュメンタリー映画

心の故郷

～ある湾生の歩んできた道～

心的故郷 ～湾生的山與海的記憶～

はやし まさゆき

監督／林 雅行

- 2007 台湾・九份 「風を聴く～台湾・九份物語～」
- 2009 台湾・金瓜石 「雨が舞う～金瓜石残照～」
- 2013 台湾・金門島 「呉さんの包丁～戦場からの贈り物～」
- 2016 台湾・榮民の家 「老兵挽歌」

テーマ曲 作曲・演奏／彩愛玲

ハーピスト

ドキュメンタリー映画/2018年/カラー/150分

後援：台北駐日経済文化代表處／台湾駐日経済文化代表處 台湾文化センター／台湾観光局・台湾観光協会／一般財団法人台湾協会／関東地区基隆会 蘇澳会／沖縄県台湾会 CHINA AIRLINES EVA AIR 蘇澳鎮／新北市／基隆市／東京台湾の会／株式会社台湾新聞社 他 特別後援：日本漫画家協会

台湾で生まれる 台湾で生きる 台湾を想いながら 今も生きる



台湾東部にある町、蘇澳。1人の日本人の手によって冷泉が発見された。この炭酸を原料にラムネが作られた。この日本人に孫が生まれた。その1人が信子さんだ。

また、この町には昔からの漁港があった。1人の日本人官吏が漁港や魚市場を整備した。この日本人に子どもが生まれた。その1人の名は道男くん。信子さんの1つ下だ。この町には螢の舞う小さな川があった。この川をはさんで小さな橋があり、そのほとりに信子さんと道男くんの家があった。道男くんはラムネが楽しみだった。信子さんと道男くんの家は橋をはさんでわずか数10mという近い距離にあったのを知るのは70年後のこと。それまでの2人の数奇な人生とは。ラムネを飲むと台湾時代がよみがえる。

「湾生」とは

戦前の日本統治下の台湾で生まれ育った日本人。

終戦時には、約20万人。



日本統治時代に台湾で生まれた

日清戦争によって台湾は日本の統治下に入った。日本の官吏、企業の社員、商人、農民などが台湾に渡った。そして台湾で生まれた子どもたち。彼らは幼少年期、学齢期を台湾で過ごし学んだ。台湾人の友だちもできた。戦争の足音と共に、軍事体制の下に。勤労働員にかりだされ、少年兵になった人も。(1895年から1945年の50年間)。日本の敗戦により、強制送還される。台湾からの日本人への引揚げは、48万人を数えた。

国際社会での台湾と中国

国際社会は変化していた。中国大陸での国共内戦に敗れた蒋介石の国民党軍は台湾に押し寄せ、台湾を支配し長期にわたり戒厳令を敷いた。80年代終わりに民主化。一方、大陸では共産党による体制が続いていた。1972年、中国は国連に加盟する。一方、台湾(中華民国)は脱退…。こうした変化を、かつての青少年女たちはどう思っていたのか？



現在の蘇澳港(南方澳)

戦後復興を担う

日本は戦災で焦土と化していた。引揚者たちは生きていくために必死に働いた。子どもたちは日本の学校に転校。やがて日本は高度成長をむかえ、成長した子どもたちは就職し、結婚した。子どもも生まれた。日本での生活も20年、30年…そして70年。それぞれ80歳を越えた。

懐古

台湾で生まれ、家族と共に日本に引揚げた湾生たちは、いま幼少期、学齢期を懐かしむ。「いま何をしている?」「元気か?」「僕の学んだ学校は?」「私の遊んだ公園は?」「螢がいた川は?」こうした湾生たちのものがたり…。

続編「湾生いきものがたり」 台湾各地で生まれた湾生たちが語るそれぞれの幼少青壮老の人生。2018年夏完成!



2018年5月19日(土)~6月1日(金) 10:00~

※26日より上映時間が変更する可能性があります。詳細は直接劇場にお問い合わせください。

ユーロスペース
EUROSPACE 渋谷区円山町1-5 初日 監督舞台挨拶 & 来場者の方々に 蘇澳羊羹プレゼント!

初日 監督舞台挨拶 & 来場者の方々に 蘇澳羊羹プレゼント!

※先着順の数量限定になります。



横浜ジャック&ベティ 近日上映決定!

映画に関するお問い合わせ

株式会社 クリエイティブ21 Creative 21
〒160-0008 新宿区三栄町16
TEL 03-3226-5290 / FAX 03-3226-5292
creative21@joy.ocn.ne.jp

基本料金 一般1,800円/大学・専門学校生1,400円
会員・シニア1,200円/高校生800円/中学生以下500円